

太宰府市俳句ポスト第百十七回入選者

令和四年十一月八日〜令和五年二月十四日

選者 阿比留 初見

境内の樹々それぞれの紅葉かな

太宰府市

伊藤 陽一郎

コスモスに埋もれて過ぎす昼下がり

太宰府市

堀之内 惺

日に踊る银杏黄葉も碑の文字も

糟屋郡

芳野 加代

西戒壇と刻む瓦や秋日和

太宰府市

白石 照子

何よりの吟行日和文化の日

太宰府市

福永 惠美

ぼくぼくと影で重ねて冷たい手

東京都

向田 嵩

ポンペイ展出でて一息冬紅葉

福岡市

小野 宗利

梵鐘の歴史聞き入る秋の暮

福岡市

神里 実

亡き人に詫び事のあり菊枯るる

小郡市

宮原 勝彦

傍線を聖書に残し冬に逝く

太宰府市

松尾 満子

枯菊にまだある矜持脇参道

大野城市

北 嘉与子

都府楼発まほろば号の秋めぐり

福岡市

前原 善之

年明けて令和の里に寄する人

太宰府市

西元 治雄

初みくじ今年の運をいただきぬ

静岡県

柳沢 恵美

鬼すべや炎のせめぎ目のあたり

筑紫野市

寒竹 賢次

御神牛よ君はひけない初みくじ

鹿児島県

櫻井 彩羽 十歳

はつもうで歩きつかれて一休み

那珂川市

田口 結菜 十三歳

はつもうで子供の声はあたたかい

久留米市

山下 滯 十三歳

冬の朝一礼二拍手「長いよ！」と

熊本県

荒木 優佳 十四歳

初詣ゆきかう人見てあたたまる

山口県

岡本 海莉 十五歳